

## 地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	一般社団法人アソビシロ
役職	地域おこし協力隊
氏名	山本 昇平
着任日	令和 7 年 4 月 1 日

活動月	令和 8 年 3 月（着任 1 2 ヶ月目）
主な活動	<b>1. ソナレの森 清掃作業</b> <b>2. 地域おこし協力隊活動報告会</b> <b>3. CONNE 空き家活用セミナー（実践編）参加</b>

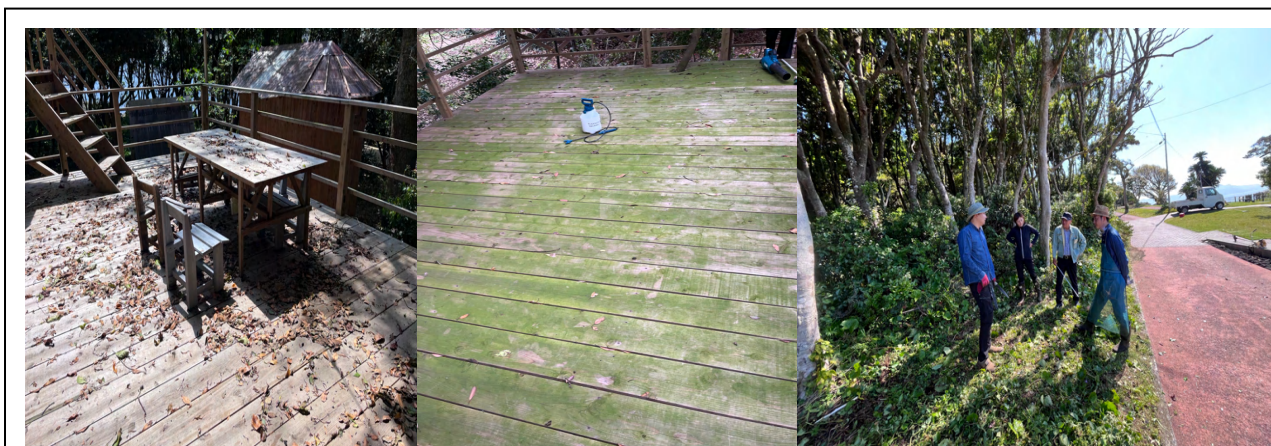
### 1. ソナレの森 清掃作業

番所鼻自然公園内の宿泊施設「ソナレの森」において、施設環境の維持管理を目的とした苔除去作業を実施した。

湿気が多い環境により発生した苔は、景観の低下だけでなく、滑りやすさによる安全面への影響も懸念されるため、重点的に除去を行った。

作業を通じて、利用者が安全かつ快適に過ごせる環境の維持につながった。

また、自然環境と共存する施設であるため、今後も定期的な点検・整備を行いながら、持続的な施設運営を行っていく必要性を再認識した。





## 地域おこし協力隊活動報告書

### 3. CONNE 空き家活用セミナー（実践編）参加

空き家活用に関する知識を深めるため、CONNE 主催の空き家活用セミナー（実践編）に参加した。

セミナーでは、実際の活用事例や運営手法、事業化に向けたプロセスについて学び、空き家を地域資源として活用する具体的な視点を得ることができた。特に、初期投資の考え方や収益化のモデル、地域との関係性の築き方など、実践的な内容が多く含まれており、事業として成立させるための視点を学ぶことができた。

また、単に施設を整備するだけでなく、地域の特性やニーズに応じた活用方法を検討することの重要性についても理解を深めた。利用者ターゲットの設定やコンセプト設計の重要性は、公園や周辺施設の活用を考える上でも共通する要素であり、有益な学びとなった。

今回得た知見は、番所鼻自然公園周辺における空間活用や拠点づくりの検討、さらにはソナレの森など既存施設の価値向上にも応用可能である。今後は、地域資源を活かした持続的な事業づくりの視点を取り入れながら、具体的な活用方法の検討を進めていく。

